

# 令和2年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和3年3月18日

法人名

園名

和順会

むさしこども園

まとめ

全体平均

3.77

第2章第2節 乳児期の園児の保育	安心できる環境づくり、スキンシップを心がけ乳児が自分を表現できるように努めた。一人ひとりに丁寧に関わることを心がけた。応答的な関わりを丁寧にした。個人の成長や体調に合わせて、日々の保育を行った。常に個人差が大きいということを理解し、それを他の保育教諭と話し合いながら子どもにとって良い方法を考えるようにした。年間を通し、たくさんの絵本や歌、わらべ歌に触れられるようにした。ぜひ今後も続けていきたい。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	保護者から離れ、初めての園生活であることを忘れずに、愛情をもって一人一人と接することと、一人一人の発達のスピードの違いを理解し、それにあった環境やかかわり方を準備することが大切だと感じる。個々の対応についてもう少しゆっくりと共感し対応していく必要があったと感じる。マスク生活の1年だったが表情や声色、信頼関係づくりはうまくいき、言葉の遅れが目立つ子ども特にはいなかった。自然豊かな環境の中でもっと遊びを展開させられるとよかったと感じる。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	3歳児の成長を考え月案、週案を立て、5歳児で主体的に活動できる選択肢を増やせるようにするために活動を考えてきた。5歳児までの経験・体験が5歳児での主体的な遊びや活動に繋がる。 子ども主体の保育の背景には、保育教諭の仕掛けや陰ながらの援助が必要だと改めて感じた。保育教諭の関わり方次第で、子どもの可能性は無限に広がっていくので、責任の大きさをを感じる。 園児自身が考え、決定していき、自分たちで見通しを持って生活する力を身に付けられるような関わりをしていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	園児のおもしろそうという気持ちを引き出せるような環境を整えるために、「しなければいけないこと」「ただの通例でしていること」を見極め「やめる」という決断をしたいと思います。 体調の管理はコロナウイルス対策の啓もう活動で、保護者も協力してくれ、おおむね良好と思われる。反対に保護者との温かなかかわり、ともに育てるところは不足していたかもしれない。
第3章 健康及び安全	安全性の高い食事を提供する為に、食材・調理食品の衛生管理、保管時や調理後の温度管理の徹底、保存食の管理を行い、衛生管理体制を確立する。安全・安心な食事を提供することを基本とし、健康管理への配慮も徹底する。 ヒヤリハット報告書を導入した。ブロック長で目標を掲げた。誤食0については、見直しを随時行い、事故防止に努めた。以前に比べて、事故防止についての活動、組織の機能は高まっている。 新型コロナウイルス感染症の流行により、特に考え、見直しが必要だった。しっかりと見直し、子どもの発達を保障したい。
第4章 子育ての支援	明るく温かい雰囲気な環境を作ることで、地域の親子が気軽に利用しやすくなりたくさんの方が利用してくれた。園日よりポスター、チラシを配布することで活動をより多くの方に知ってもらい、保護者との信頼関係を築くことを大切にしている。日々のちょっとした悩みや気になることを親身になって聞いたり、子どもや保護者が興味を持っていることを話したりしながら、安心できる場所を作っている。今年度は、コロナ不安の中での子育ての支援の必要性を感じる。
第5章 職員の資質向上	保育の質の向上の取組みを進めなければいけないが、コロナの影響により、研修の場がなくなり、さらに、コロナ対応の知識を入れていくことに大変苦労した1年でした。オンラインという研修方法で、効率よく研修を行いたい。 今回、評価表を付けることでもっと勉強しなければと感じ、自分の足りない点が明確になった。他分野も含めて本を読み進めたい。保育が過去の形態に戻ることを避け、「こどもの最善の利益」を第一に考えたい。
総合	新型コロナウイルス感染症への対応に追われた1年でしたが、当初のテーマであった「考えて保育をしよう～教える保育からみとる保育へ」を粘り強く進めていった年でした。 ①安心・安全な環境、②遊びを中心とした保育を進めました。 「音楽活動の見直し」「科学する心を育てる保育論文」「誤食"0件"の目標」「オンライン研修」と取り組む。 70周年記念事業が、コロナの為、中止・縮小とせざるを得なかったことが残念です。 来年も、地道に保育の取組みを進め、これまでの保育を少しでも変えていきたい。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	3.87
「3歳未満児保育」	32	3.47
「3歳以上児保育」	53	3.75
「教育保育の配慮事項」	16	3.75
「健康・安全」	29	3.79
「子育ての支援」	13	3.77
「職員の資質向上」	9	4.67
計	167	3.77

データグラフ

